

活性水素水

その抗酸化水としての機能!!

病は水から…生活水の改善は家庭の健康と安全を実現致します。

1. 水と生命

私達は毎日2～2.5リットルの水を取り入れ、排出しています。「水」は人間の**身体の約65～70%を占め**、欠かせない生命の基盤となるものです。体内に取り入れられた水は毛細血管の隅々まで速やかに浸透し、栄養分や酸素を供給し、体内の老廃物や炭酸ガスなどの排出物を運び出す働きがあります。汗をだして体を冷やし、汗を押さえて熱が逃げるのを防ぎます。また、栄養物質を溶かしたり、生体反応に大変重要な働きをしています。水は私達の生命そのものと考えてよいでしょう。生命は太古の水に生まれ、血液や体液という形で我々を生かしているのです。生活環境の中でも「水」と接する機会は多く、飲み水をはじめ、食事、入浴、洗濯などすべての生活行為は「水」に始まり、「水」に終わります。

2. 水と環境汚染

最近の地球環境汚染は深刻な水の汚染に結びついております。車の排気ガスや工場排煙に含まれる亜硫酸ガスなどが酸性雨となり、植物を枯らします。また大都会の水源では約**500種類**の化学物質に汚染されており、浄化した水道水からも約**200種類**の化学物質が含まれているとも言われています。人体も絶えず水が入っては出ていく川のようなものですから、もし汚染された水を取り続けたとしたら、私達の身体は健康である筈はありません。では、私達が毎日利用している水道水についてはどうでしょうか。水道水中には公衆衛生上の安全を守るために、強い酸化力のある塩素ガスと次亜塩素酸ナトリウムが投入されています。水中に存在する大腸菌などの細菌類は、これらの強い酸化力によって殺菌されている訳ですから、これらが水中にある限りは、殺菌力は持続しています。したがって、各家庭の蛇口から出水する時には、水道法上0.1ppm以上の遊離塩素が残っていることを義務づけております。公衆衛生上安全な水であることは大切なことですが、蛇口を出てから体内に入れたり体表面に触れたり、調理する時には、遊離塩素は不要ですから除去するか、**還元して無害な塩素イオン**にしてから利用すべきです。

3 活性酸素と病気

近年、活性酸素が老化、ガン、糖尿病、アトピー性皮膚炎など様々な疾病の原因になっていることが判明してきました。大気、土及び水の汚染が活性酸素の発生を高め、健康障害を起こしている懸念されています。活性酸素は体内に吸い込んだ酸素を利用してエネルギーを生み出す過程で生成します。この活性酸素は生体防御では重要な働きをする一方、**過剰な活性酸素**が生体に有害な作用をすることが最近の研究で明らかにされています。活性酸素は体内に異物が入った時などに免疫系として防御機能を受け持ちますが、反面、コレステロールや不飽和脂肪酸などと結合して酸化コレステロールや過酸化脂質をつくり出し、遺伝子DNAを傷つけ、老化、動脈硬化、脳卒中、心筋梗塞、ガンといった疾病の原因ともなります。

4. 水の抗酸化性と還元水

赤ワイン、お茶に含まれるポリフェノール、あるいはビタミンCなどの抗酸化物質の制ガン作用については、免疫の機能を活性化させるということで、脚光を浴びております。しかし、**過剰に摂取すると活性酸素の発生源**にもなると言われています。これに対し、水は生体膜や脳血液関門も透過する唯一の物質であり、この水に抗酸化性を賦与できればと以前より期待されてきました。

5. 磁場還元水＝活性水素水

活性水素水の抗酸化性が研究の結果、明らかになってきましたが、先般、**磁場還元水**においても、製造メーカー及び大学研究室の共同試験により**活性水素の含有が検証**され、活性酸素を消去するという実験結果も得られました。尚、1997年、国際学術誌に活性水素水の抗酸化性が論文としても発表されました。

◎「**奥長良川の秘水**」は水の電子に**強力な磁場処理と遠赤外線放射セラミック処理**をすることによって水のクラスター（分子集団）を小さくして整え、無菌濾過し、フレッシュパックします。これによって**水は本来の性質を取り戻すと共に活性水素を含む活性水となり**、さまざまな機能を発揮します。例えば、**水のクラスターが小さくなることで細胞組織に吸収されやすくなり**、新陳代謝をより順調にします。したがって、老廃物や毒物の排出を促進すると共に細胞や組織の活性により**自然治癒力を高め**、健康で快適な生活を送ることができます。